

良識ある保守主義・情報公開

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
☎ 042-795-7361 (FAX: 必
要に応じて186を頭に加える)
議会 042-724-2171
yoshidaben@gmail.com



吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

わたしの#stayhome 日記：鑑賞

「町田市民文学館ことばらんど」で開催されている、今日マチ子さんの「わたしの#stayhome2020-2023」を鑑賞しました。なお、展覧会は6月25日(日)まで開催です。

今日マチ子さんは、SNS時代に登場した新しい漫画家として注目される存在です。最近では、「みつあみの神様」で手塚治虫文化賞新生賞、「いちご戦争」で日本漫画家協会賞大賞(カーズ部門)受賞などがあります。展示品はそれらの解説も入っていますが、メインは(わたしの#stayhome2020-2023)です。



企画展示室の大半を使って、A4サイズの作品が並んでいます。2020年の緊急事態宣言以降のソーシャルディスタンスが当たり前になっていく街の風景をA4サイズのイラストで1日1枚を表現したものです。(以上、案内チラシの記載より) 120点の作品が展示されていますが、次々に眼を映していきたくなるものでした。私は、コロナで変わったものに興味が引かれました。

議案賛否の会派対応と自由賛否

市長や議員が出した議案、及び住民請願の賛否に関して、町田市議会の場合、様々の対応がありました。

最も自由に対応しているのは、「無所属」の会派です。当初予算に関する修正案は、無所属会派で提案したことで、3名が全員提案者(最低3名以上で提案権がある)となり、修正案に反対、原案に反対でした。その修正案に賛成した議員は、共産党の他、まちだ市民クラブ、選ばれる町田、諸派のそれぞれ1名でした。町田市議会でこのように、各会派内で対応がこれほど分かれることは珍しく、それだけ、芹が谷公園に建設される町田市立工芸美術館と関連する工事予算に対して異議があると考えてよいと思っています。もちろん、この事業は市長が自分の主要事業と考えていることで簡単に覆せると言うものではありませんが、先々もいろいろな問題を引き起こすでしょう。

なお、これまで議案賛否で会派一体を保ってきたまちだ市民クラブは、無所属提案の修正案に賛成した一人の議員が、会派を出る結果をもたらしました。再度、記載しますが、「無所属」会派は、賛否自由が原則です。



- ◎町田市内企業が開発した「水耕栽培メロンの世界一決定戦」を開催しよう!
- 支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。
- 吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしました

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、
夏季の第52期生を募集開始

1票差の選挙当落と電子投票方式の選挙

今回の統一地方選挙で、1票差で当落が分かれるケースが、大規模な自治体の世田谷区などで起こっています。結果は結果ですが、当事者にとっては、選管のカウントに問題がないか、投票者が書いた文字が読みにくい疑問票の判断が自分に厳しく、他方に甘いのではないかと考え、選管に異議申し立てをしたり、あるいは過去には裁判に訴えるケースもあり、最高裁で最終決着されるという事例も起きています。今回の世田谷のケースはどう進んでいくのでしょうか。

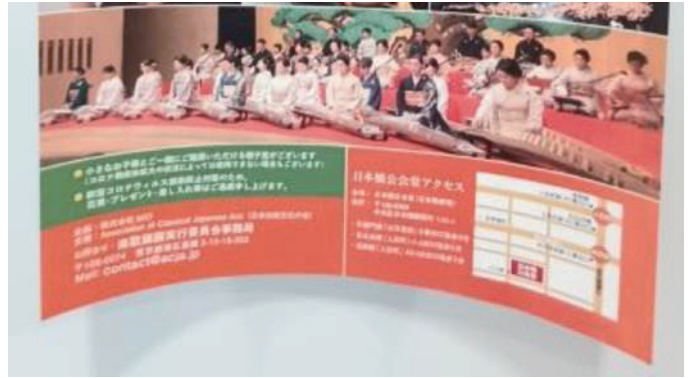
投票用紙に手書きする方法を電子投票方式の投票に切り替えると、数を間違える例や、だれに投票したものか読み取れないという疑問票と言うものはゼロになります。電子投票の場合は、全部の候補者名をモニター画面に並べ、その中から選択して投票ボタンを押す方法になります。特定メーカーの機種で読込のデータがオーバーフローして電子投票機がストップし、投票が出来ない人が多数出た事故が発生し、岐阜県可児市で投票無効となった例があり、そのことが起因して現在は全部の自治体で休止しているものですが、改めて、このような状況を見ると、再スタートをする段階が来たのではないのでしょうか。



青森県六戸町で実施された電子投票を視察

日本橋劇場と花道

楽歌踊謡実行委員会が主催した朝から日本橋公会堂に出向き、「楽歌踊謡」を楽しむ機会を得ました。連休中の企画でしたが、実行委員の一人からご案内いただいたの鑑賞でした。



「楽歌踊謡」の案内チラシの一部

会場は日本橋公会堂のホールで、「日本橋劇場」という名称になっていました。とても重厚な石造りの古い建物で東京都中央区が所有する施設です。中央区は日本でトップの金持ちの自治体です。これから建替え建設が行われるそうですが、ホールは花道(可動式)を持つスタイルで、次もこの伝統的な構造を残していただきたいと願うものです。なお、その花道には「すっぽん」という迫り出しも備わっているとの仕様図ですが、この日はお芝居ではないので使われませんでした。代わりに、花道が幕間の出演者の入退場に何度も使われました。

三絃・箏・尺八が基本で、時として、小鼓・太鼓が入り華やかなものもありました。冒頭には、小中学生などが参加したワークショップの体験者も出演し、総勢50名の演奏が二組登場しました。伝統技能を受け継ぐ体制が敷かれており、共感するものでした。プログラムの後半は、踊りや歌を交えた発表が続きました。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2023年3月末までに104名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。